

TTA レポート (NO.105)

2020年には、オリンピック・パラリンピックの実施に向け、また2022年の栃木国体に向けジュニア育成・強化で栃木県と一丸となり取り組む要あり。皆様方のご協力を宜しくお願い申し上げます。

1、8/23にTTAのサミット会議(理事長+3副理事長による)

2015年度のTTA方針に基づく懸案事項につき、その方向付けの議論を行った。

1) 2022年栃木国体のTTA組織と計画、予算のため、「栃木国体準備室」として専任の組織を作り準備する。

メンバーは井村理事長を総括者とし、次回理事会で内容も含め議論し承認を得る。

横松副会長・・・国体準備室等関係部署との情報収集、要望
井村理事長・・・総括
吉羽副理事長・・・総括補佐
神山副理事長・・・総括補佐
吉井副理事長・・・総括補佐
鈴木秀男総務経理副委員長・・・総務(事務全般担当)
鈴木紀雄審判委員長・・・審判養成
阿久津強化委員長・・・成年強化
ジュニア委員長・・・少年強化一吉羽副理事長指導

2) 中高生の参加増対策、P&S、聴覚者スポーツ大会(2016.6.24~26)。SCUとロービングのあり方等議論した。

2、【JTA】平成27年度TENNIS P&S特別補助金交付

6/9(火) 11:00~14:00 JTA畔柳会長との懇談会、昼食用意するを踏まえ、経過措置としての3年間は終了したが経過措置期間を1年間延長し、27年度の助成金は昨年と同額程度と考えている。

昨年に引き続きTENNIS P&S普及事業への特別補助金交付募集を今年も実施することとなりました。

JTA添付書類参照 ①平成27年度TENNIS P&S特別補助金交付のご案内 ②平成27年度TENNIS P&S特別補助金交付要綱(別紙1)

③平成27年度TENNIS P&S特別補助金交付申込書(別紙2) ④平成27年度TENNIS P&S特別補助金交付実績報告書(別紙3)

⑤PLAY+STAY名称変更のお知らせ

3、2015年関ブは8/1~2に埼玉県で実施。

6/8都県通過で、栃木県は残念ながら7番目で不通過だった。

来年は、山梨県で開催、8/6~7で予定

1. 大会概要
・日程 平成27年7月31日(金)~8月2日(日)
・会場 埼玉県大宮第二公園第一テニスコート
・主催 公益財団法人日本体育協会・埼玉県・関東テニス協会・さいたま市
・主管 埼玉県・埼玉県体育協会・埼玉県テニス協会・さいたま市・さいたま市体育協会
・後援 文部科学省
2. 試合方法
・ダブルス1ポイント、シングルス2ポイント、合計3ポイントによる対抗戦。
・試合は、各種別とも都道府県対抗のトーナメント方式で行う。
・試合はすべて8ゲームズプロセット、セミアドバンテージ方式とする。
・試合は1回戦より勝敗決定後に打ち切りとする。
3. 参加監督・選手・トレーナー
総監督：阿久津定之
1. 成年男子 監督：渡邊千鶴 選手：玉腰敬大 河内良容
トレーナー：吉村健児

4、2015年第39回全日本都市対抗(2016希望郷いわて国体リハーサル大会)

1回戦は4-2で和歌山市に勝つも、2回戦で2-4で新潟市に惜敗。京都市が優勝。

来年度の都市対抗枠は関東6です。神奈川、東京、千葉はストレートで全国出場、埼玉、群馬、茨城、山梨、栃木で3枠を争うこととなります。9月16日のKTA常務理事会で神山副理事長より栃木会場を立候補声明予定。

5、2015年度「とちぎオープンジュニア」の最終参加者数が確定

18男子	118名	18女子	71名
16男子	67名	16女子	53名
14男子	97名	14女子	62名
12男子	169名	12女子	89名
男子計	451名	女子計	275名
男女計	726名		

昨年は757名でしたが今年は 726名で昨年より 31名減です。

次号は、106号で、発行は、2016.1.1号です。

以上